

平成26年度学生による授業評価集計結果概要 について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生による授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送により質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基礎科目	共通科目： 社会系	共通科目： 自然系	共通科目： 外国語	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
H26(2014)	3	1	5	2	7	8	7	6	8

自然と環境	総合科目	夏季集中科目	計
3	5	2	57

【学部】

	生活健康科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	計
H26(2014)	2	1	2	1	2	3	11

① 対象者

平成26年度第1学期履修登録者

※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出

※登録者数が上記の人数未満の科目は全数

※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期 質問紙配布： 8月15日(平成26年度第1学期単位認定試験終了後)

質問締切： 9月30日

調査結果の集計： 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H26(2014)	14,256	12,924	1,332	5,977	5,357	620	41.9%	41.5%	46.5%

付録) 平成26年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性
【学部】

	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
H24(2012)	7.7%	15.7%	19.4%	13.8%	-	6.5%	69.6%	18.1%	7.4%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	0.9%	1.1%	1.3%	1.1%	1.6%	0.6%			
	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
H25(2013)	9.2%	11.7%	14.2%	17.6%	2.9%	10.3%	71.8%	16.7%	7.3%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	1.8%	0.4%	1.0%	0.6%	1.5%	0.8%			
	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
H26(2014)	13.3%	17.1%	9.7%	14.3%	5.8%	7.1%	70.5%	16.5%	7.7%
	旧専攻所属全科履修生								
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			
	1.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.6%	0.5%			

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	48.8%	46.7%	0.7%	10.8%	16.9%	22.2%	16.6%	22.7%	8.8%
H25(2013)	51.7%	46.4%	0.4%	8.5%	14.2%	19.9%	16.9%	26.3%	13.4%
H26(2014)	48.9%	49.5%	0.4%	7.8%	13.6%	21.1%	19.5%	25.2%	11.9%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

(2) 回答者の属性
【大学院】

	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
H24(2012)	2.4%	3.6%	1.3%	6.0%	5.8%	-	-	2.5%	21.9%	67.8%	6.5%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
	-	文化情報	環境システム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
H25(2013)	2.3%	2.0%	2.2%	6.7%	-	4.9%	4.6%	3.0%	27.2%	59.7%	7.6%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
	1.4%	文化情報	環境システム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
H26(2014)	4.4%	0.8%	1.3%	9.4%	-	5.0%	2.4%	4.8%	28.7%	59.8%	8.1%
	旧プログラム所属修士全科生										
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
	0.2%	文化情報	環境システム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H24(2012)	61.5%	36.3%	2.4%	15.0%	28.0%	28.9%	17.5%	7.8%
H25(2013)	61.2%	35.4%	3.4%	13.8%	22.0%	23.8%	24.4%	11.1%
H26(2014)	63.5%	33.1%	2.6%	8.4%	22.1%	25.2%	27.4%	13.7%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

付録) 平成26年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H24(2012)	3.10	3.10	3.1	3.18	3.16	3.21	3.16	3.12	3.22	3.18	3.20	3.14	3.15	3.13	3.18	3.21	3.17	3.28	3.21	3.18	3.26
H25(2013)	3.14	3.16	3.12	3.24	3.25	3.22	3.21	3.23	3.18	3.22	3.28	3.14	3.21	3.22	3.19	3.27	3.23	3.32	3.29	3.28	3.29
H26(2014)	3.10	3.18	3.06	3.23	3.27	3.18	3.22	3.25	3.19	3.23	3.34	3.08	3.17	3.20	3.14	3.24	3.24	3.24	3.28	3.31	3.25

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基礎科目	共通科目：人文系	共通科目：社会系	共通科目：自然系	共通科目：外国語	生活と福祉	心理と教育
H24(2012)	3.17(3.73~2.55)	3.14	3.23	3.07	3.33	3.04	3.26	2.88	3.03	3.27
H25(2013)	3.27(3.71~2.72)	3.26	3.27	3.35	-	3.28	3.34	3.05	3.16	3.31
H26(2014)	3.26(3.75~2.72)	3.29	3.23	3.23	3.14	-	3.16	3.19	3.13	3.42

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区分別					
社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	総合科目	夏季集中科目
3.27	3.20	-	-	3.11	3.25
3.24	3.35	3.22	3.15	3.21	3.29
3.23	3.28	3.18	3.27	3.43	3.16

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H24(2012)	3.22	3.12	2.97	3.16	3.11	3.13	3.18	3.23	3.29
H25(2013)	3.25	3.28	3.59	3.21	3.26	3.23	3.27	3.28	3.31
H26(2014)	3.24	3.28	3.17	3.16	3.24	3.29	3.28	3.28	3.24

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H24(2012)	3.13	3.10	3.15	3.24	3.17	3.27	3.27	3.17	3.32	3.19	3.17	3.20	3.20	3.16	3.21	3.28	3.17	3.33	3.26	3.18	3.30
H25(2013)	3.25	3.40	3.19	3.29	3.40	3.24	3.31	3.44	3.26	3.25	3.48	3.16	3.23	3.28	3.21	3.27	3.33	3.25	3.36	3.46	3.31
H26(2014)	3.21	3.29	3.10	3.32	3.38	3.24	3.33	3.39	3.26	3.35	3.43	3.23	3.25	3.31	3.17	3.29	3.32	3.24	3.36	3.43	3.28

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別							
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報科学	人文学	情報学	自然環境科学
H24(2012)	3.22(3.57~2.78)	3.13	3.27	3.43	3.35	3.16	3.23	3.09	-	-	-
H25(2013)	3.32(3.61~2.93)	3.45	3.27	3.21	3.45	3.44	3.21	-	3.44	3.24	2.93
H26(2014)	3.34(3.53~2.67)	3.41	3.25	3.28	-	3.38	3.40	-	3.46	3.06	3.40

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
H24(2012)	3.27	3.19	2.62	3.13	3.22	3.30	3.25	3.31
H25(2013)	3.24	3.47	3.14	3.45	3.41	3.30	3.25	3.26
H26(2014)	3.34	3.36	3.40	3.40	3.35	3.27	3.37	3.32

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまさない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

2014年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
<印刷教材>					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

付録) 平成26年度学生による授業評価集計結果の概要等について

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

